

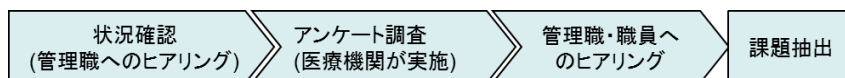
1 専門家による支援

① 導入支援

○現状分析・課題抽出支援：6医療機関

■ プロセス

- ・ 医療労務管理アドバイザーと医業経営アドバイザーによる支援が基本
- ・ 5回程度訪問し、1月頃までに課題抽出を行う。



■ 申込のきっかけ

- ・ 2月のセミナーに参加し、第三者による評価・アドバイスをもらうため希望したという医療機関が多数

■ 各医療機関における主な課題(初回訪問時)

- ・ 様々な取組を行ってきたが、離職率がなかなか下がらない。取組に対して職員から不満も出ている。
- ・ 管理職の思いが職員にうまく伝わらない。
- ・ 看護師だけでなく、医師や薬剤師、コメディカルの確保・定着が課題。
- ・ 人事評価が部署によってばらつきがある。
- ・ 医師の言動に対する不満や患者からの苦情も少なからずある。

■ 進捗状況(12/20時点)

- ・ アンケート調査、管理職・職員へのヒアリングまで全6医療機関が完了
- ・ 課題抽出(最終報告)完了：3医療機関

■ 抽出された主な課題(12/20時点)

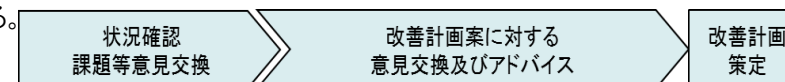
- ・ 上級管理職の意思や取組、努力がその他管理職や一般職員に伝わっていない。
- ・ 医師とその他職種とのコミュニケーションが円滑でない。
- ・ 職員対象の相談窓口（セクハラ等に関する相談窓口）が整備されていない。整備されていても職員に周知されていない。
- ・ 人事評価の仕方が中間管理職にとって明確となっていない。
- ・ 業務量が多く、職員定着率が低い。職員の確保に困難が生じている。
- ・ 給与制度に関する職員の不満が大きい。

○改善計画策定支援：2医療機関

（うち1医療機関：現状分析・課題抽出支援と併せて支援希望）

■ プロセス

- ・ 専門的視点に基づき、抽出された最優先課題に対する改善計画の策定までを支援
- ・ 医療機関において作成する改善計画案に対し、意見交換及びアドバイスをを行い、医療機関が改善計画を策定できるように支援する。



■ 取組課題

- ・ 人材確保・定着に向けた取組(コミュニケーションの円滑化、研修体制・フォロー体制の構築)
- ・ 今年度の現状分析・課題抽出支援で抽出された課題
※今後医療機関と調整

■ 進捗状況(12/20時点) ※2医療機関ともに支援中

- ・ 一般職員も巻き込んだPTを設置して検討中
- ・ 現状分析・課題抽出支援終了後、支援開始予定
※今後医療機関と調整

○導入支援医療機関の傾向

- ・ 200床未満の医療機関が大多数を占める。
- ・ 療養病床ありの医療機関が増加傾向にある。

＜参考＞

			28年度	27年度	26年度
支援実施医療機関数			7	11	11
内 訳	所在地	区部	5	3	5
		多摩地域	2	8	6
	200床未満		5	8	8
	療養病床あり		6	5	3

※28年度は、現状分析・課題抽出支援及び改善計画策定支援の両方を希望する医療機関が1件あり